

令和7年度学生向けライフデザインセミナー実施業務委託に係る
公募型プロポーザルに関する質問・回答

No	質問	回答
1	・「セミナーの対象者」について、「就職先等進路が決まっている学生の参加を想定」とあるが、現時点で内定を得ていない学生の参加も多くなる可能性はあるか。	・仕事や結婚、子育て等のライフイベントについて、関心度が比較的高いと考えられる就職先等進路が決まっている学生の参加を想定していますが、セミナーの対象者は、今後セミナーを実施する大学等を募集した上で、大学等の意向を尊重し決定することとなるため、内定を得ていない学生や進路を検討中の学生が参加する可能性があります。
2	・「セミナーの対象者」について、学部や専攻分野の想定はあるか。 (例:理系・文系の偏りがあるか、など)	・No.1の質問に対する回答に記載のとおり、セミナーを実施する大学等は、今後募集することとなるため、現時点で想定はありません。
3	・セミナーは、原則として1大学あたり1回の実施を想定しているのか。複数の大学からの参加者が合同で受講する形式となる可能性もあるのか。	・原則として1大学あたり1回の実施を想定しており、複数の大学等からの参加者を募集する合同での開催は予定していません。
4	・「実施回数」について、「5回程度」とあるが、同一の参加者による連続講座(全5回)を想定しているのか、毎回異なる参加者による単発講座(全5回)を想定しているのか。	・No.3の質問に対する回答に記載のとおり、原則として1大学あたり1回の実施を想定しており、毎回異なる参加者による単発講義(5回程度)になります。
5	・セミナーを通じて、富山県として特に重視している成果や変化は何か。 (例:就職後の離職率の低下、若年層の定住促進など)	・セミナーを通じて、仕事や結婚、子育て等に対する不安が払拭され、ライフデザインについて前向きに考え、自身が目指す将来像に向けて具体的な行動につながるきっかけとなることを期待しています。
6	・セミナーの内容について、「多様な選択肢」を提示するにあたり、キャリア・ライフスタイルに関する話題で避けた方がよい価値観やトーンの留意点があれば、事前に共有してほしい。	・セミナーには、様々なバックグラウンドや価値観を持つ受講者が参加する可能性があります。 そのため、キャリアやライフスタイルに関する話題を取り扱う際には、特定の価値観や選択肢を押し付けるようなトーンは避け、参加者が自由に自分自身の生き方を考えることができるよう促す内容が望ましいです。 特に、結婚しないことやこどもを持たない選択も尊重されるべきであり、それらに対する偏見や価値観の押し付けにならないようご留意ください。
7	・実施大学はすでに決定しているか。今後調整となるか。	・質問No.1への回答に記載のとおり、今後募集により決定することになります。

8	・大学との打合せには、どのような立場の方（例：キャリアセンター、学生課、教務担当など）が出席される見込みか。	・県内の大学等の教務担当課を中心に募集案内を行う予定としていますが、セミナーに参加する学生の対象者や実施方法などに関しては、実施する大学等の意向を踏まえ決定することとなります。 そのため、打合せにご出席いただく方の立場については、実施する大学等のご判断やセミナーの進め方に応じて変わる可能性があり、現時点では分かりません。
9	・「セミナーの内容は、基本的に同一」とあるが、大学ごとの調整範囲についての目安（例：スライド調整程度か、ワーク内容の一部変更も可か）を教えてください。	・全体的なプログラム構成は変更を行わず、調整の範囲は説明内容や進行方法の一部のみと考えています。 具体的には、実施する大学等から「この点をより手厚く説明してほしい」などの意向が示された場合、説明時間の配分調整や説明内容の補足、追加の具体例の説明等、可能な範囲でご対応いただきたいと考えています。
10	・参加者の集客について、富山県内の大学、短期大学及び高等専門学校が対象となるが、県として集客支援等のサポートは検討しているか。 また、検討している場合は、どのようなサポートとなるか。	・セミナーを実施する大学等の募集は、県が担当する予定です。 参加者の集客についても、実施する大学等と県が行います。